

「回覧」 学校等再編だより

～子どもたちのより良い教育環境を目指して～

第6号 令和2年12月15日 西伊豆町教育委員会

保護者説明会の結果を報告いたします。

7月20日、21日に開催した保護者説明会の内容は、以下のとおりです。

- 1 これまでの経緯について
- 2 施設整備計画について
 - (1) 統合認定こども園の建設場所について(小中一貫校と同敷地内、海名野地区、先川地区)
 - (2) 小中一貫校開校時のグラウンドについて(開校時の取扱いなど)
 - (3) 小中一貫校のプール整備について(開校時の取扱い及び民間活用など)

説明会での保護者アンケートの内容は、以下のとおりです。

【問1】統合認定こども園の建設場所について(希望順に回答)

- ア 小中一貫校と同敷地内に建設
- イ 海名野地区の津波浸水想定区域外に建設
- ウ 先川地区の津波浸水想定区域外に建設

【問2】小中一貫校及び認定こども園を同敷地に建設となった場合の統合年度について

- ア 令和6年度の1年間グラウンド使用は見込めないが、令和6年度に施設一体型小中一貫校として開設し、小学生と中学生が同年度に入校
- イ 令和6年度の1年間グラウンド使用は見込めないため、令和6年度は隣接型小中一貫校として開設し小学生のみ入校、中学生は令和7年度に入校

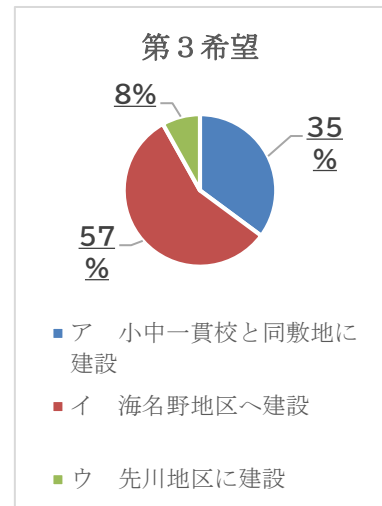
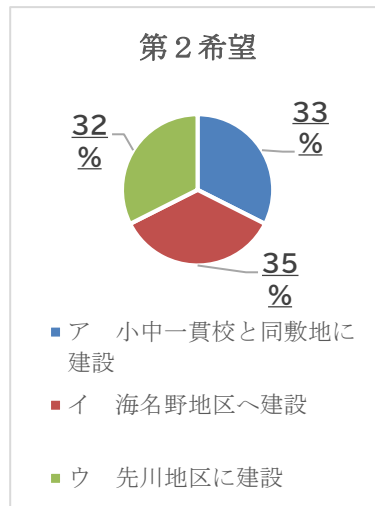
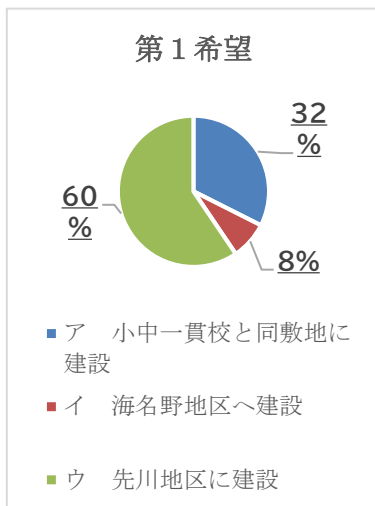
【問3】プールについて

- ア 小中一貫校の敷地内に建設
- イ 民間等のプールを活用

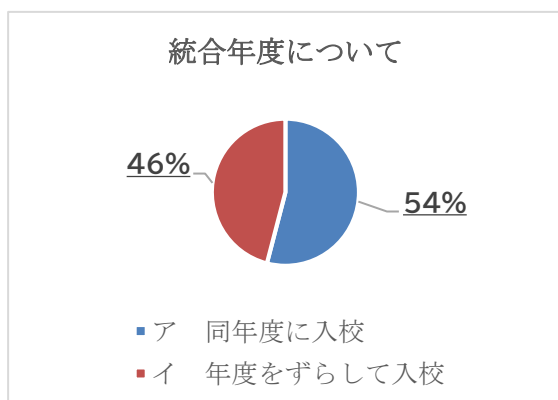
アンケートの集計結果は、以下のとおりです。

※配布数 45 人、回収数 37 人(82.2%)、未回収数 8 人(17.8%)

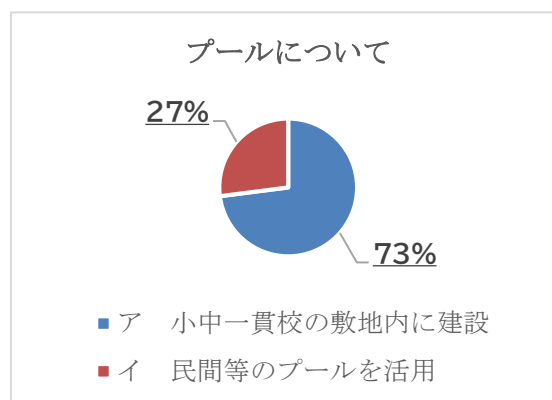
【問1】認定こども園の建設場所について



【問2】小中一貫校の統合年度について



【問3】プールについて



PTA 主催の保護者説明会にて統合の経緯を説明しました。

10月28日から30日までの3日間、田子公民館・安良里中央公民館・増進センターの3会場にて統合の経緯に関する保護者説明会を開催しました。開催の趣旨は、当日のPTA会長のあいさつに含まれていますのでその抜粋をご紹介します。

〈PTA 会長あいさつ抜粋〉

10月14日に町内のPTA会長の7人と教育委員会事務局と意見交換会をしまして、今新聞等に出ています文教施設の統合、認定こども園と町内の学校を1つの施設に統合するというお話について、PTA 会長と教育委員会とで意見交換をしました。

新聞等ですと予算のみが出ていて、詳細の内容があまり出ていないかと思えます。この意見交換会の中で色々詳細を聞いていく中で、61億という多額の予算が出ていますけれども、その裏というのがどういうふうになっているのか。それから幼保だけを別の敷地に移すという案が出ていますけれども、それはどういう考えのもとにこういう案が出て来たのか。というのを会長7人とも理解をしました。

このお話をぜひ各保護者の方にも知っていただきたい、正しく理解していただきたいということで、今回説明会を開催させていただきます。

説明会の内容は、以下のとおりです。

- 1 これまでの経緯について
- 2 施設整備計画について
 - (1) 当初計画案について説明(施設規模など)
 - (2) 液状化対策によって事業費が増えたことについて説明
 - (3) 開校時にグラウンドが利用できないことについて説明
 - (4) 上記(2)および(3)を解決するためにこども園別用地案を提案したことについて説明
- 3 当初案と先川案のメリット・デメリットについて説明

上記(2)および(3)を解決するためにこども園別用地案を提案した中で、

・送迎等の保護者負担とこどもの安全を考慮して、小中一貫校から近くで津波浸水想定区域外の土地を検討し、3案の候補地から地権者の了解を得られた現在地を提案した旨の説明を津波浸水想定区域や土砂災害警戒区域図、航空写真を使って説明しました。

当初案と先川案のメリット・デメリットについての説明の中で、

・コロナの影響で工程が遅れている中、工程的に厳しい状況の中、このような事態となり、更に作業工程が遅れるため、統合年度の先送りも検討しなくなりましたことをご理解いただく説明もしました。

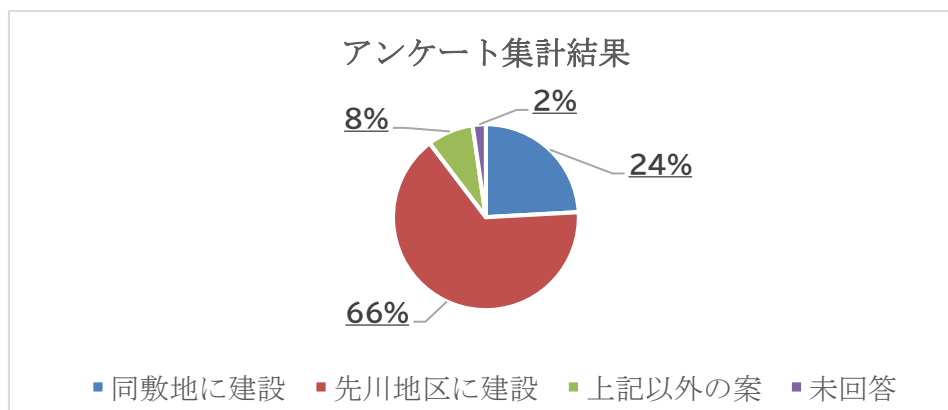
説明会での保護者アンケートの内容は、以下のとおりです。

- 【問1】お子様の在籍園・校等について
【問2】文教施設整備計画について（認定こども園の建設場所）
ア 小中一貫校と認定こども園を同敷地に建設
イ 認定こども園は先川地区に建設
ウ 上記以外の案（具体的にご記入ください。）

アンケートの集計結果は、以下のとおりです。

※配布数122人、回収数87人（71.3%）、未回収数35人（28.7%）

【問2】認定こども園の建設場所について



これを受け西伊豆町教育委員会 鈴木秀輝教育長のコメントは以下のとおりです。

津波対策を考えた小中一貫校の校舎を今の西伊豆中の場所に建設し、認定こども園の園舎も同敷地に建設する予定でしたが、地質調査の結果、液状化対策が必要ということになり、工事費が高額になることがわかりました。また、新校舎建設が高額過ぎるという声があったことも考慮して、園舎を津波浸水想定区域から外れる場所に建設することで費用の削減ができることから、3月の町議会議員の全員協議会で説明しました。コロナウィルスの影響から開催できないうちの文教施設等整備委員会を7月に開き、園を別用地にしてもいいのではないかと意見が多くありました。しかし、保護者の意見も聞きたいということで説明会を行い、参加者は少なかつたものの先川案が支持されました。そして、第2回文教施設等整備委員会で、先川案を了承するという回答をいただきました。

その後、議会で説明を行い用地取得の準備を進め、10月12日の臨時議会に用地取得の補正予算を提案したところ「もう一度原案に立ち返り少子化・コロナ対策などの諸条件を勘案していただきたい。」という修正案があり、賛同が得られず用地の取得ができなくなりました。この頃PTA役員の中からも「初期の案通り同一敷地内で大幅な予算変更と設計変更を。」という声がありましたので、前ページのPTA会長の挨拶にあるような説明会が行われました。そして、私たちが進めたいと考えている先川案の支持が多くありましたので、その実現を目指したいと考えています。先川案では、園を学校と別用地にすることで、開校した年に学校の運動場がないということが解消でき、その先も1年生から9年生までの年齢差に配慮した使いやすさが期待できます。園は学校から約500メートルの場所になりますので、小中一貫校との交流はこれまでと同様に可能です。いつ起こるかかわからない地震に対して、できるだけ早く安全性の高い校舎と園舎が必要なのではないのでしょうか。

中学校の統合は計画どおり進んでいますが、校舎と園舎の建設には遅れを取っているため、引き続き議会の理解と協力が得られるよう努めてまいりたいと思います。

※11月5日に中学校統合保護者説明会を増進センターで実施しました。

対象者は、小学校6年生・中学校1・2年生の保護者で、参加者数は80名でした。